税金

提案・意見

森林環境譲与税について（回答:1月31日時点）

質問1) 立位置を教授下さい。

質問2) 個人住民税を納める人に、1人年間1000円を上乗せして税を徴収するらしいですが、池上彰流にくだいて説明して下さい。

回答

質問1) 森林には、国土の保全、水源の維持、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など様々な機能があります。しかし、林業の担い手不足や、所有者の境界の不明な土地により、経営管理や整備に支障をきたしています。

このことから森林の機能を十分に発揮させるため、間伐など適切な森林整備が課題となっています。

このような現状に加え、パリ協定の枠組における、日本の温室効果ガス排出目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を確保する観点から森林環境譲与税が平成31年4月に創設されました。これは森林環境税（国税）を徴収し、森林環境譲与税として各都道府県、市町村に配分されます。森林環境税の徴収は令和6年度からとなっていますが、令和元年度から前倒しで配分されています。

配分は森林環境譲与税として国が都道府県と市町村に、それぞれの私有林人工林面積、林業就業者数、人口による比率により配分されます。配分比率は基本的に都道府県1：市町村9の比率になります。

この譲与税を活用し、都道府県はアドバイザーの配置、森林整備を実施する市町村の支援等、市町村は経営管理が行われていない森林について、所有者から意向の確認を行い、市町村や林業経営者が所有者に代わり、森林の間伐等の整備、また木材利用として公共建築物の木造・木質化による地元材の利用促進等にも取り組みます。

伊勢市においても、本譲与税を活用し、長期的かつ計画的な森林整備を推進しています。

【農林水産課】

質問2) 個人住民税につきましては、均等に負担いただく均等割額と所得に応じて負担いただく所得割額を課税しております。

均等割額は、標準税率の市民税3,000円・県民税1,000円となっています。

平成26年度から新たに県民税として、「みえ森と緑の県民税」（5年毎に見直し）の1,000円を課税し、同じく平成26年度から市民税・県民税として、「地方税の臨時特例に関する法律」による防災施策のために各500円を課税しております。これらを合わせて市民税3,500円・県民税2,500円、合計6,000円の課税となっています。

なお、「地方税の臨時特例に関する法律」による防災施策のための引き上げ分については、令和5年度までとなっております。

また、令和6年度から森林環境税が創設され年額1,000円（国税）が新たに課税されることとなりました。したがって、均等割額に増減はなく6,000円を課税することになります。

「みえ森と緑の県民税」と「森林環境税」の趣旨につきましては、「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と、「県民全体で森林を支える社会づくり」を目的としています。

また「森林環境税」は森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加等課題に的確に対応し森林資源の適切な管理を推進することを目的としております。

【課税課】

担当課

農林水産課、課税課（2023年1月回答）〔1/30～2/3〕

子育て

提案・意見

支援（回答:1月31日時点）

他の市や町では子育て世代に、いくらか給付金があるのですが、伊勢市はそういう事は何もないんですか？
だんだん住みにくくなってきました。

回答

「子育て世代への給付金」についてお問い合わせいただきまして、ありがとうございます。伊勢市では新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来、子育て世代・ひとり親世帯・低所得世帯への給付金の支給を行ってまいりました。また、今年度は全国的な物価高騰に対応するため、市独自の生活応援給付金（1世帯あたり1万円）を支給しているところです。今後も、国県の支援策を活用するとともに、必要な支援策を要望・検討していきたいと考えております。今後とも、市政に対するご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご意見ありがとうございました。

担当課

福祉総務課（2023年1月回答） [1/30~2/3]

上下水道

提案・意見

下水道計画について（回答:1月31日時点）

居住する地区の下水道整備をR4～R6で実施すると回覧板で以前に回っていました。それに追従するように町内では宅地化が図られています。

- ①計画通りR6までに下水道は整備されるのですか？
- ②一部の人など自治会が反対して、事業が進まないと聞きましたが、事実関係をお示しください。
- ③下水道が整備されないと家を建てる時に浄化槽が必要となりま増すが、事業の遅れによる、浄化槽設置には、通常ではない特段の補助が出ますか。
- ④各個人が下水道に参画しないのと、地域全体の下水道整備の推進は、別問題ですが、伊勢市の見解をお示しください。
- ⑤状況の地元説明会を強く求めます。

回答

お住いの地区の下水道事業については、これまでに説明会を2回開催させていただきました。その後、自治会様から下水道事業に関するご要望をいただき、今後も下水道の整備について協議を続けさせていただきたいと市から回答しております。現時点では、下水道整備の完了時期は未定で、地元説明会についても開催の予定はございません。

下水道事業は、市民の皆様には負担が伴うため、自治会様をはじめとする地域の皆様のご理解、ご協力があって初めて効果を発揮するものであることから、今後も下水道事業を推進するにあたっては、自治会様との協議を継続させていただきたいと考えております。

また、浄化槽の補助金については、下水道事業の遅れによる追加上乗せの補助はございませんが、下水道事業計画区域であっても、特に生活排水対策に必要な場合においては、下水道整備後の接続を約束いただいた上で、5人槽110,000円、6～7人槽138,000円、8～10人槽182,000円を限度に補助金を交付しています。

担当課

下水道建設課、料金課、環境課
(2023年1月回答) [1/30～2/3]

まちづくり

提案・意見

公園の整備について（回答:1月31日時点）

伊勢市川端町～中須町の堤防下の公園整備は、いつできますか？
もう何年もほったらかしですか？

回答

ご質問いただきました宮川河川敷公園整備については、宮川左岸の高水敷を利用して、平成30年度から公園内の散策路整備を毎年度実施しております。また、全体計画につきましても、財政状況が厳しい中ではありますが、今後も引き続き地元や関係機関と整備手法や一部未買収地について協議を行い計画的に進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

担当課

基盤整備課（2023年1月回答）〔1/30～2/3〕